

OSBEELS (オレゴン州試験ボード) のウェブサイトから

始めに例によって、OSBEELS (オレゴン州試験ボード) のウェブサイトに掲載されている、Examinations & Qualifications Committee (試験資格審査委員会) の議題・議事録から気になるトピックをお知らせします。今回は10月9日分の議事録となります。

- イラクのエンジニア Mr. Luay Esho は、彼の教育及び職歴が所定のオレゴン管理規則 (OAR) を満たさないとの委員会の決定を、再検討するよう要請した。現在のイラクの情勢においては、このような情報を学校や職場から収集することが大変困難であるとのこと。彼は他の27州において登録されており、また彼の外国での学位も充分であると主張している。委員会は11月10日のボード会議へこの事項を申し送りする決定をした。

⇒ ボード会議の議事録ができておりませんので、本件の顛末が分かりませんが、イラクのエンジニアが米国のPEを取得しているという事実から、やはりPEはグローバル・スタンダードであるという思いを新たに、またエンジニアのキャリアも国際情勢とは無縁ではられないのだ、ということを感じました。

- Chemeketa Community College の「Civil Technology Program」の講師から、オレゴン管理規則の「Technical Work」に該当することが分かるよう、「Civil Engineering Technology」とプログラム名を改めようと思うが、という提案のメールがあった。委員会は、OSBEELS にプログラム名に関する権限はないが、その変更自体は管理規則に合致すると決定し、そのように同講師に通告する。

⇒ これはPEN/FEがReferenceを作成する場合にも留意すべきことと思います。自分の経歴、タイトルなどをどのように表現するかによって、審査者の印象も変わってきます。勿論詐称は厳禁ですが、そうならない範囲で、自分を上手にプレゼンする心構え、能力も大切です。

- 委員会では、外国人受験者への新規免許下付申請、及び外国人受験者からの試験申請受付について、NCEES と様々な討議を行っている。

⇒ これについては、現在JSPE/JPECでも具体的な内容についての確認を行っていますので、明確になり次第、会員各位に告知したいと思います。

- NCEES のディレクターボードにおいて、ソフトウェアエンジニアのための新しいPE試験を策定することが承認された。実施までには2年半ないしは3年くらいかかる見通し。

- 他州PEのオレゴン州での登録について、今回はずっと以前に他州で登録されたPEについての報告が目立った。

California で1972年に合格したPE。当時の記録が充分残っていなかったが、結局はOKとなった

Texas で1983年に合格したPLS。当時の記録が残っておりOKとなった

Alaska で1962年にElectrical Engineerのライセンスを取得したエンジニア。Alaska州は1967年までNCEESの試験を実施していなかったが、提示された情報を検討した結果OKとなった

さて、今回はオレゴンボードとは特に関係ないのですが、この2週間で2回、ソウルへ出張する機会がありましたので、少しだけ雑感をご紹介します。

皆様ご承知の通りとは思いますが、韓国は世界のマーケットニーズに合ったデジタル機器・部品を、いち早く開発・販売することにより存在感を高めています。今回の訪韓目的の一つは、そういった製品を対象としている企業との打合せだったのですが、そのリードタイムに対する要求の厳しさは、日本企業の比ではないと感じました。特定の企業のみとのつきあいを避け、常に同業を競わせながら最大のアウトプットを引き出す手法は、ベンダーにとってはつきあいづらいかもかもしれませんが、後発メーカーでありながらあつという間に日本企業を引き離し、世界に冠たる地位を築いているわけですから学ぶところは大きいにあるでしょう。デジタル機器の普及は日本以上であるように見えました。車を運転している人は、Bluetoothを使ったハンドオフの携帯電話システムを普通に使いこなしていましたし、Incheon 空港のワイヤレスLANを使ったインターネット接続コーナーは大盛況でした。その一方で日本以上に、メガネをかけた子どもが多いような…デジタル機器の普及、激しい受験戦争など理由は複数あるのでしょうか、急速な発展に負の側面もあるのかな、と思わずにはおれませんでした。

街は日本人観光客が多いせいか、日本人が旅行に訪れても不便の無いような工夫がいろいろ見られます。例えば地下鉄ですが、写真①に示すように切符販売機は韓・英・日・中の各言語の選択が可能ですし、各駅には何号線の何駅か分かるような固有の番号が付けられておりました（大阪や京都の地下鉄にもついていますが）。日本がアジア同胞の旅行者を迎える体勢はこれほどになっているか、と考えさせられました。数時間ほど、観光する時間に恵まれたので、写真②に示す景福宮（李氏朝鮮の王宮）を見物したり全身マッサージを受けたりと、大変有意義に過ごしたことを付記しておきます。



写真①



写真②